

森林を守る 森林を活かす

「みどりの月間」

春の陽射しがまぶしくなってきました。本年も、四月十五日（水）から五月四日（金）まで「みどりの月間」が設定されています。（緑の募金街頭活動は、新型コロナウイルス感染症拡大により中止）。

「緑の募金」活動は、「緑の募金で進めようSDGs」を統一スローガンとして『森林を守る 森林を活かす』も活用し、啓発行事を展開しています。

きれいな空気、おいしい水、心身の癒し、地球温暖化防止など、森林は私たちの豊かな生活を支え、多くの恵みを与えてくれます。この活動は、国民運動として一層の進展が期待されています。

このため、広く皆さま方に、森林整備の重要性や木材利用の意義などに理解と関心を深めて頂くことが大切です。

そのためにも、更なるご理解、ご協力をお願いします。



国土緑化推進機構HPより

誌上 森林環境教育

小学生からの質問

「動物はどうして木を食べられるの？」

哺乳動物の胃の大きさや形は様々。肉食動物の胃は比較的小さく形も単純な袋状だが、草食動物の胃は大きく複雑な形に。

胃は1つの袋からなる単胃と、2つ以上の部屋に仕切られている複胃とに。人間やゾウ、イヌ、ウサギなどは単胃グループで、胃の内面を覆っている粘膜から消化液が分泌され食物の消化が行われる。

これに対して複胃グループのうち、4つの部屋に分かれている胃袋を持っているウシやシカなどは、口から入った餌は第1の胃に、この胃には微生物が住みついて、草や木の葉を発酵させ消化しやすい物質に。

第2の胃では、餌を小さく砕き再び口に戻され噛み直される（反すう）。

噛み直された餌は、第3の胃に行き、さらに細かく砕かれ、第4の胃に。

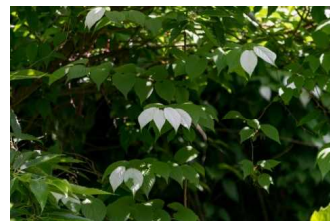
ここで初めて餌は消化液の働きによって消化されるのだよ。

もっと知りたい森と木の話
(北海道林業改良普及協会)



知っ得 豆知識

「マタタビ」って



マタタビ（マタタビ科写真）は、山の沢そばに多い「つる性」の植物で、梅雨のころ直径2cmくらいの梅のような白い可愛い花を咲かす。花のつくりを見てみると、雄しべだけで雌しべの退化してしまった雄花、1本の雌しべだけの雌花、雄しべ・雌しべの揃った両性花の3種類。このように色々な形の花があるものを雌雄雑居性という。マタタビの花の咲くころには、枝先の葉が白くなる性質。これは葉の柵上組織にクロロフィルという緑色素を欠くため。

実は、長さ3cmくらいの先のとがった長楕円形で、秋になると黄色く熟す。また、虫の仕業で丸い凹凸の虫こぶとなることが多く、乾燥したものを「木天蓼（もくてんりょう）」といい、リュウマチや中風の薬として薬局などで売られている。（街の自然観察 矢野亮より）

編集後記

新緑の季節、五月に入っても新型コロナウイルスの感染拡大が続いています。

引き続き体調の管理をしっかりと。